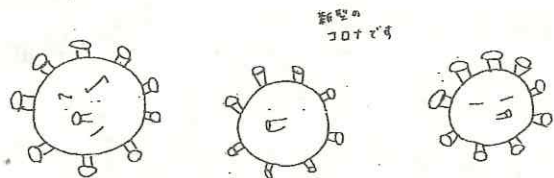


新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!

～負のスパイラルを断ち切るために～



感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

第1の“感染症”は病気そのものです

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。



「人混みを避ける」「咳エチケット」「手洗い」など、ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。

第2の“感染症”は不安や恐れは私たちの



不安や恐れは身を守る為に必要な感情ですが、私たちから力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。

自分を支える力を弱めます。

聴く力

気づく力

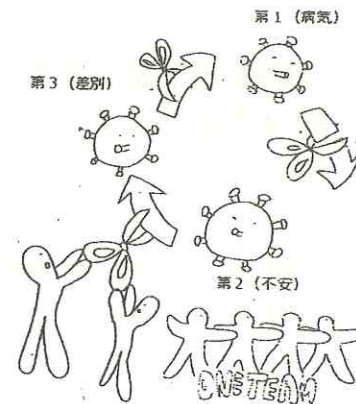
第2の“感染症”にふりまわされないために不安や恐れは私たちの



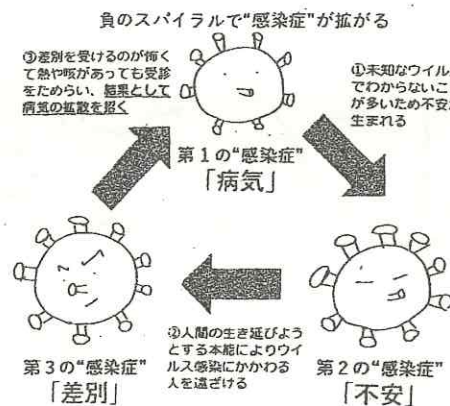
(日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」より 一部抜粋)

3つの“感染症”をみんなで乗り越えていくために

このように、新型コロナウイルスは、3つの感染症という顔をもつ私たちの生活に影響を及ぼします。このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。それぞれの立場でできることを行い、皆が1つになって負のスパイラルを打ち切りましょう!!



3つの“感染症”は どうつながっているの?



この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで。

第3の“感染症”は 嫌悪・偏見・差別です



不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。

そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。



第3の“感染症”を ふせぐために

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

・小さな子どもがいる家庭

・高齢者

・治療を受けている人とその家族

・自宅待機している人

・医療従事者

・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々に、ねぎらい、敬意を払いましょう。

新型コロナウイルスによる感染が流行しています。



実はこのウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。知らず知らずのうちに私たちも影響を受けていることをみなさんにご存知ですか?

ウイルスがもたらす

第2の“感染症”は 不安と恐れです

このウイルスは見えません。ワクチンや薬もまだ開発されていません。わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまつことがあります。それらは私たちの心の中でふくらみ、気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、瞬く間に人から人へ伝染していきます。

ウイルスがもたらす

第1の“感染症”は 病気そのものです

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。

感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

①未知なウイルスでわからないことが多いため不安が生まれる

第2の“感染症”「不安」

②人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける

第3の“感染症”「差別」

第1の“感染症”「病気」

③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く

負のスパイラルで“感染症”が広がる